

小さな拠点

「里山キャンパス益子家」
プロジェクト

発表者：宇都宮大学農学部農業経済学科 西山研究室
鈴木美愉、岡澤薫平、勅使川原夢南
(指導教員：西山未真)

1, 里山キャンパス益子家の概要

- ・ 研究対象である「農業と農村」をもっと身近に、具体的に理解するための拠点として開設
- ・ **アクションリサーチ**の現場としても活用

益子町大平地区の課題



- ・ 耕作放棄地の増加
- ・ 空き家の増加
- ・ 食文化の衰退
- ・ 地域外との関わりに不慣れ
- ・ 中途半端な田舎
- ・ 山の荒廃、竹藪の増加
- ・ 人と会わない

2, 益子家のコンセプト

- 1 持続可能な里山を
実現できる場所
- 2 やってみたいができる場所
- 3 多様性が集う場所
- 4 食と農が自分自身に
結び付けられる場所



3, 活動概要

概要	2022年(1年目)	2023年(2年目)	2024年(3年目)
1.農地調査と棚田の再生	<ul style="list-style-type: none"> 農地台帳分析,T型点検 水路,畦づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ゆうだい21の栽培(農薬,肥料不使用)、販売 収穫祭 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな棚田に着手 オーナー制の開始 地域で有機栽培PJ試行
2.古民家改修	<ul style="list-style-type: none"> 荷物だし,基礎の整備 屋根の補修 	<ul style="list-style-type: none"> 下地フローリング貼り 縁側,屋根の補修 	<ul style="list-style-type: none"> 外壁補修、内装整備
3.竹林・山林整備	—	<ul style="list-style-type: none"> 森林活用計画(WS) 	<ul style="list-style-type: none"> 作業道の整備(WS) 山取得に挑戦(クラウドファンディング)
4.食に関する情報収集	—	<ul style="list-style-type: none"> ローカルフードシステムの調査 	<ul style="list-style-type: none"> 月1回の地域食堂開催
5.農村地域の手仕事の掘り起こし	<ul style="list-style-type: none"> 藍、綿の栽培(農薬,肥料不使用) 綿繰り機の自動化 マルシェ出店 	<ul style="list-style-type: none"> 藍、綿の栽培(農,肥料不使用) マルシェ出店 	<ul style="list-style-type: none"> 綿の栽培(農薬、肥料不使用) マルシェ出店

4-1,進捗状況 ～山の整備～



薪需要で皆伐され放置されていた山の整備



大平地区を一望できる山

→共同で管理し、里山の資源を活用したい

- ・WSで森林活用計画づくり
- ・NPO法人トチギ環境未来基地とコラボ企画で環境整備ボランティア、刈払い講習の開催
- ・山を取得

【中山間地域に未来を】里山資源の荒廃を防ぎ、「やってみたいができる森」をつくる！

里山キャンパス益子家



現在の支援総額

¥2,228,000

目標 / ¥3,000,000

FUNDED!

支援者 176人

残り 終了

いいね 11

4-2, 進捗状況 ～地域食堂～

メニュー

- 1月27日・大平地区の混ぜご飯etc.
- 3月2日・野菜いっぱい粕汁etc.
- 3月30日・ネギとシイタケのアヒージョetc.
- 4月27日・たけのこパーティー
- 5月26日・流しそうめん
- 6月29日・夏野菜カレーと手打ちお蕎麦etc.
- 7月27日・夏野菜BBQ
- 8月24日・ゴーヤチャンプーetc.
- 9月28日・秋の炊き込みご飯etc.



未利用資源の活用

- ・竹林の竹やたけのこ
- ・集落行事で使用されていたお膳や食器



新たなつながり創出

- ・移住希望者との出会い
- ・新たに垣間見えた住民同士の発見
- ・安心できる空間

4-3,進捗状況 ～棚田の取組み～



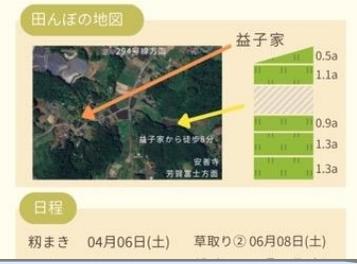
益子町大平 安善寺の棚田

芳賀富士麓の棚田の田んぼ1枚 (0.5a～) のオーナーになれるコースです。自分の田んぼとして、愛着も美味しさも倍増。収穫したお米は全てお渡しします。収穫後の田んぼにはいつでも自由に遊びに来てOK! キャンパやBBQ、星空観察も!

じぶんで田んぼコース

プラン①11,500円/1a
プラン②28,500円/1a
プラン③31,500円/1a
プラン④35,500円/1a

実践できる工程	①	②	③	④
田起こし	○	○	○	○
畦塗り	○	○	○	○
水管理	○	○	○	○
蒔まき・育苗	○	○	○	○
田植え	○	○	○	○



継続的な活動、発展に向けて

- ・新たに田んぼ2.6a+オーナー制度、有機栽培PJの開始
- ・作業にかかる時間、労力を数値化

→今後生産、販売を行う上での要素を可視化

5, 集落での アクションリサーチ



ゆうだい21
有機栽培ブ
ランド化

畑 (藍と綿)
Kさん (所有者)

空家の改修

KTさん (持ち主)、
Sさん (大工)、KEさん

集落共同でゆうだい
21の有機栽培
8名 (除草作業)



地域調査

KEさん、IYさん、TT
さん

棚田再生

TYさん (地主)、
IYさん (育苗)

地域花壇

大平農地環境保全会

お披露目会

大平地区全体

里山循環ネットワーク

益子町

真岡市、宇都宮市

地域食堂

棚田オーナー
2組参加

山林整備・クラファン挑戦

トチギ環境未来基地
コマツ小山工場
とちぎユースサポ
ーターズネットワーク

田植え・稲刈り

高校生、ましこ農
の学校のOBOG

6, 益子家が目指すもの

資源を活用し、住み続けられる地域づくりへ

拠点づくり

○空き家の再生と活用

- ・数十年空き家になっていた建物を約2年かけて改修

→ 里山ゼミ室として活用
WS, 映画鑑賞, 農作業後の休憩

仕事づくり

○棚田再生

- ・ **集落**で「ゆうだい21」の有機栽培プロジェクト化
- ・ 約1トンのコメの販売計画

資源活用で 関係人口増加

○山の所有、整備、活用

- ・ みんなの山
- ・ やってみたいができる山

→ 「自分の小屋を1から建てる」
「食べられる森の育成」へ

7, 今後の予定

・空き家の改修

- ・今年度をめどに基礎的部分の改修を完了、ゼミ室として内装を充実させる

・棚田、お米

- ・販促と来年度以降の安定的な売上確保のための販路の開拓
- ・11月にマルシェへ参加しお米や活動のPR

・山林整備

- ・クラウドファンディングのリターンとして山林整備WSを開催(月に1回)
- ・ゾーニング(整備する場所、残す場所)を行う
- ・冬期に無理なく作業道の確保、篠竹の伐採を進める

・地域食堂

- ・継続的な開催(月に1回)
- ・クラウドファンディングリターン支援者との交流
- ・備品の充実



今年度もまだまだ頑張ります！！
ご清聴ありがとうございました。

